

顎下腺癌および舌下腺癌に対して重粒子線治療を行った患者さんへ

当院では、顎下腺癌および舌下腺癌に対する重粒子線治療を行っております。これまで顎下腺癌および舌下腺癌に対する重粒子線治療のまとまった報告は少なく、有効性（どのくらいの効果があったか）や安全性（照射後に出てきた副作用）の解析は十分には行われておりません。これからの治療に役立てるために、これまでの顎下腺癌および舌下腺癌に対する重粒子線治療について、詳しく調べる必要があると考えています。

この研究は、顎下腺癌および舌下腺癌に対する重粒子線治療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。データは名前などの直接個人を特定する情報は削除して解析を行います。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 顎下腺癌および舌下腺癌に対する重粒子線治療の遡及的解析

[実施期間] 研究機関の長の許可日～2027年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 伊川 裕明（量子科学技術研究開発機構 QST病院）

[研究の目的] 当院において重粒子線治療を施行した顎下腺癌および舌下腺癌症例の治療成績を解析し、その安全性、有効性を検討することを目的とします。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

顎下腺癌および舌下腺癌に対して1997年4月から 2025年7月までにQST病院（旧 重粒子医科学センター病院/放射線医学総合研究所病院等）で重粒子線治療が行われた方。

●利用する情報及び収集方法

利用する情報は、患者さんの年齢や性別、治療前後の画像所見、重粒子線治療の詳細、転帰などの臨床データを収集します。

情報の収集方法は、医用画像サーバ、画像保存専用パーソナルコンピューター、電子カルテ、紙カルテ等に保存されている2025年12月までの情報を収集します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前などの個人を直接同定できる情報を削除した状態で用います。収集したデータは、パスワードをかける、施錠管理した部屋で扱う、など安全管理に配慮した上で、研究を実施します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報が外部に出ることはありません。（個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に依り取り扱います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2025年12月31日までに下記「問い合わせ先：窓口」にお申し出くださるようお願い致します。2025年12月31日までに申し出があった場合、解析から除外します。2026年1月1日以降の申し出であっても、可能な限りデータを解析から取り除きますが、すでに集計し解析に用いられ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。そのような場合であっても患者さんの個人を特定できる情報が公開されることはありません。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

【問い合わせ先：窓口】

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 伊川 裕明

電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）